



がっこう
学校だより

和の玉まるく！

2022(令和4)年
やまとしりつしぶやしやうがっこう
大和市立渋谷小学校

がっこう
11月号



じゅうてんもくひょう
重点目標 「スマイル100% ~ひびかせよう自分の力→みんなの力~」



令和4年度学力学習状況調査の結果から

先日の運動会には多くの保護者の皆様のご参観をいただきありがとうございました。3年ぶりの全校での開催でしたが、どの子もこれまで取り組んできた力を十分に発揮してくれました。また、ほかの学年の児童の演技や競技も真剣に見ながらたくさん応援することもできました。運動会を通して一回り成長した子どもたち。これからも楽しみです。保護者の皆様にも感染対策や参観の仕方など、たくさんのご協力とたくさんの温かいお言葉もいただき、本当にうれしかったです。感染症の状況にもよりますが、今後も子どもたちの学校生活の様子をお見せできる機会を作っていきたいと思えます。

さて、6年生を対象に4月に実施された「令和4年度学力学習状況調査」について結果をお知らせします。この結果を踏まえ、学校全体での取り組みや指導の改善を図っていきます。ご家庭におかれましても家庭での学習や生活について見つめる機会にしていいただければと思います。

【調査結果の見方】○：おおむね良 好な内容 ▼：課題となった内容 ☆今後の指導や方向性について

【国語】

がくりよくちようさ 学力調査

【理科】

○話し言葉と書き言葉との違いや言葉には相手とのつながりをつくる働きがあること

▼習った漢字を文の中で正しく使うこと

▼互いの立場や意図を明確にしながらかしあい、自分の考えをまとめること

☆立場や場面に応じた言葉の使い分けをこれからも意識させ、丁寧な言葉遣いを心がけさせていきます。

☆授業の中で根拠を明確にしながらかし、自分の考えを筋道を立てて発表や文章で表現する、互いの意見を紡ぎあいながら深めた学びを自分の言葉で簡潔にまとめさせていく習慣を作っていきます。

○観察、実験などで得た結果について分析し、結論を導き出すこと

○実験器具の名称(メスシリンダー)

▼水は水蒸気になって空気中に含まれていること

☆普段から実験をする際、課題設定→課題に対する実験の方法→予想→実験と結果記録→考察といった授業構築がされており、何のために実験をしている

か児童が理解できています。今後も継続していきます。

☆教室や理科室で学んだことが生活の中で(自然現象などで)現れた時に理科の学習と結びつけ、子どもたちに体感させられる場面を設定できるように心がけていきます。

【算数】

○基礎的な四則計算の問題

▼目的にあった数の処理の仕方を考えること(がい数)

▼伴って変わる二つの数量関係に着目し、未知の数量の求め方と答えを記述する。

☆普段の授業から問題を解くときに図や表、言葉や立式など今ある自分の力を使って答えを導き出していき、思考の過程を大切にしていきます。また自分の考えを伝えあう活動をさらに充実させていきます。

【全教科で取り組んでいきます】

☆児童が興味を持って取り組みたいよう実際の生活に即した学習課題やこれまでの認識とのずれからの学習課題を設定します。どの児童も勉強がたのしいと思えるよう学びあいの芽が育つ授業展開の工夫をします。

がくしゅうじょうきょうちようさ じどうしつもんし
学習状況調査(児童質問紙)

がくしゅう がっこうせいかつ
【学習および学校生活】

かていせいかつ がくしゅうしゅうかん た
【家庭生活・学習習慣・その他】

がっこうでのICT利用が多く、友だちと意見を交換したり、調べたりしている。

○理科の勉強が好きで、観察や実験の結果からどのようなことが分かったか考えている。

▼国語の勉強が好き。

▼自分に良いところがある。

▼困りごとや不安があるときに先生や学校にいる大人に相談する。

☆自分の思いや考えを伝えあうことは学習の中でも学校生活の中でも大切にしています。ICTを活用した授業でも子ども同士の関わりあいを大切にしていきます。

☆「スマイル100%」の学校重点目標のもと、自分の良さを見つげられるように一人ひとりの前向きな取り組みを励まし、承認し、自己肯定感を高めていこうと取り組んでいます。また、困った時に頼られる教師集団となるように信頼関係の構築に努力していきます。

○放課後や週末に友だちと遊んで過ごす。

○携帯電話やコンピュータの使い方について家の人と約束したことを守る。

▼家庭学習の計画や学習習慣

▼将来の夢や目標を持っている。

☆友だちとの関係が学校のみならず、帰宅後も関わりあえていることはとても良いことです。これからも大切な仲間と楽しく過ごしてほしいと思います。

☆家庭学習の習慣は個人差があるようです。家庭での学習は【学年×10分】を目安に取り組んでいきましょう。

クロームブックの扱いも子どもたちは上手になっています。学校から出される宿題とあわせて、自主的にスタディサプリに取り組むなど家庭学習にICTを効果的に取り入れることも良いと思います。